



校長室だより 1月

2021(令和3)年1月8日

大阪市立堀江小学校

校長 藤原 和彦



あけましておめでとうございます

新しい一年が始まりました。世の中は新しい一年のスタートでも、学校は、一年間のまとめが始まります。特に6年生は、中学校への進学に向けて小学校生活の締めくくりの学期となりますし、他の学年も、次の学年に向けて準備する学期にあたります。ですから、昨日の始業式では、再び元気な子どもたちの姿をみることができて嬉しい気持ちを伝えるだけでなく、「頑張れ!」のエールを込めて3学期をどのように過ごしていくのかというお話をしました。

さて、令和3年の干支は、丑年です。十二支で2番目にあたる今年の「丑」という文字は、生まれたての人の赤ちゃんが、手をかたく握ったこぶしの様子を表しているのだそうです。昔の人は、年を人間の一生のサイクルに当てはめていたと言います。ですから、十二支で2番目の丑年は、生まれたての赤ちゃんの時期にあたるのでしょう。そう考えると、昨年からのコロナ禍で世界が一変したのは、世の中が新しい人生を歩み始めたと言えるかも知れません。まだまだ先は長いように思えますが、それだからこそ、焦らず一步一步確実に歩みを進めていくことが大切な気分がします。



冬休み中も世間における新型コロナウイルス感染症の勢いはとどまることなく、依然として危機感を抱く状況が続いています。幸いにも堀江小学校では落ち着いた始業式を迎えられましたが、これまでどおり基本的な感染症対策を取りつつ、子どもたちの健康状況をしっかりと把握していきたいと思っています。各ご家庭におかれましても、引き続き感染予防に努めていただくとともに、万一の場合は早急に学校までご連絡の上、連携をとっていただきますようお願いいたします。

新校舎の竣工式を行います

今月から一部使用を開始した新校舎の竣工式を1月30日(土)の土曜授業で行います。新校舎の竣工式は、通常、地域の皆様方を来賓にお迎えして、盛大に行うことが多いのですが、教育委員会の指示もあり、新型コロナウイルスの感染予防策として、お客様をお呼びせず児童と教職員のみで新校舎の完成をお祝いする事にしました。

当日は、児童代表として6年生が講堂で、他の学年はテレビ放送で教室から参加します。校歌や学校長式辞を聞いた後、教育長や西区長からいただいた祝辞を披露し、西六地域と堀江地域の連合町会長のお二人とPTA会長からビデオでメッセージをいただきます。そして、児童代表の言葉で締めくくる予定です。

竣工式自体は簡素な仕立てとなりますが、PTAからは子どもたちに素晴らしい記念品をいただきます。今回は、校章をあしらった堀江小学校のオリジナルクリアファイルと、アレルギーフリーの飴をご用意していただきました。とても素敵な記念品ですので、子どもたちが持ち帰りましたら、ぜひご覧ください。

新校舎は完成しましたが、旧校舎の改築や西学舎の建設など、今後も児童増加の対策は続きます。これからも校長室だよりなどで、できる限り情報提供をしていきたいと考えています。

